

令和6年度 第2回
さぬき市少年育成センター運営委員会



日 時 令和7年2月21日（金） 13：30 ～
場 所 寒川第2庁舎 2F 203会議室

さぬき市少年育成センター

次 第

○ 開会

挨拶 土佐 運営委員会委員長

和田 教育長

講話 さぬき署生活安全課 課長 様

1 議題

(1) 令和6年度事業報告

活動の概要と実施状況

- ・ 少年補導
- ・ 少年相談
- ・ 適応指導
- ・ 地域連携
- ・ 環境浄化
- ・ 広報啓発
- ・ 研究・研修
- ・ 運営に関する審議会

(2) その他

- ・ 補導員アンケート（モニター調査）結果

2 事務連絡

○ 閉会

令和6年度 事業報告

さぬき市少年育成センターの目標

夢を抱き、心豊かに自立する青少年の育成

1 育成センター運営方針

- (1) 青少年の健全な育成を目指し、明るく住みよい地域づくりを推進する。
- (2) 青少年健全育成の関係機関や団体の中核となり、連携を密にして青少年の健全育成活動を推進する。
- (3) 常に警察官や補導員と密接な連携をとり、街頭補導に努める。
- (4) 青少年の健全育成に関わる相談センターとしての機能を高める。
- (5) 青少年の健全育成のための広報啓発に努めるとともに有害な環境の浄化を進める。
- (6) 不登校児童・生徒のための適応指導教室の充実を図る。
- (7) 職員・補導員の研修に努める。

2 育成センターの活動の重点

〈 連携・共働・交流 〉

(1) 補導活動

- ・日々の巡回や街頭補導を通して、青少年への積極的なあいさつや声かけを行い安全に対する意識を高める。
- ・学校や関係機関と協力して問題行動の早期発見と早期指導に努める。

(2) 相談活動

- ・悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進する。
- ・通級生の保護者や市内小中学校の不登校傾向の保護者を対象とした保護者会を開催する。
- ・学校・家庭・関係機関と適切な連携をとり、継続的な指導に努める。
- ・少年相談専用電話の活用と広報活動の充実に努める。

(3) 適応指導教室の充実

令和7年度から教育支援センターへ名称を変更

- ・不登校児童・生徒及び保護者の一人一人の心に寄り添った対応に心がけ、心のケアを図り自信回復や社会的自立につながる支援を行う。
- ・通級生の学校復帰に向け、家庭や学校とより密接な協力・連携に努める。
- ・支援を要する児童・生徒に対して、学校及びSSW等との情報交換を計画的に行う。
- ・通級生や市内小中学校の不登校傾向のある児童・生徒を対象とした体験活動を実施する。

(4) 地域連携

- ・「こどもSOS」の設置場所を維持し、継続していく。
- ・情報収集と適切な情報提供を行うことで、不審者等から子どもを守ることを徹底する。

(5) 環境浄化活動

- ・関係機関・団体との連携・協力により、地域の環境浄化に努める。

(6) 広報啓発活動

- ・市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を高める。
- ・インターネットやスマホ利用についてのチラシを活用し、意識の高揚に努める。

(7) 研究・研修事業

- ・補導員研修会等の開催や県育成センターの研修会に参加し、研修に努める。

(8) 運営に関する審議会

- ・運営委員会を開催し、事業や運営について審議する。

3 活動の概要

(1) 少年補導

No	事業名	事業実施状況及び概要	備考
1	第1回育成センター補導員会 第2回育成センター補導員会	○センターの運営に関する規則第7条に基づき補導員を委嘱する。 ・第1回 日 時：5/21（火）15:00～16:30 場 所：寒川農村環境改善センター 参加者：補導員・センター職員 内 容：委嘱状交付 さぬき警察署生活安全課課長の講話及び指導助言 組織づくりと年間計画作成 補導員37名参加 ・第2回 日 時：2/7(金) 15:00～16:30 場 所：寒川庁舎 301・302号室 参加者：補導員・センター職員 内 容：さぬき警察署生活安全課課長の講話及び指導助言 事業報告	*各地域から37名の補導員さんが参加くださり、計画通り開催することができた。 農村環境改善センターから変更して実施。40名の補導員が参加してくださいました。
2	朝方合同補導	○交通ルールの遵守を呼びかけるとともに「大人から子どもたちへのあいさつ運動」を推進し、子どもたちと積極的に人間関係を築く補導活動を推進する。 ・第1回 4/15(月) 7:20 さぬき南中 補導員4名参加 4/16(火) 7:20 志 度 中 補導員4名参加 4/17(水) 7:20 長 尾 中 補導員4名参加 4/18(木) 7:20 津 田 小 補導員4名参加 4/19(金) 7:20 さぬき南小 補導員3名参加 4/22(月) 7:20 志 度 小 補導員3名参加 4/23(火) 7:20 さぬき北小 補導員4名参加 4/24(水) 7:20 寒 川 小 補導員3名参加 4/25(木) 7:20 長 尾 小 補導員3名参加 4/26(金) 7:20 造 田 小 補導員3名参加 ・第2回 9/3(火) 7:40 J R 志度駅 補導員4名参加 9/5(木) 7:40 J R 神前駅 補導員5名参加 9/6(金) 7:40 J R 津田駅 補導員5名参加 ・第3回 1/9(木) 1/10(金) 1/14(火) 1/15(水) 7:00～8:15 所員のみで実施。小・中・高校の登校に合わせて青パトで巡回した。	*第1回、2回ともに予定通り実施できた。第1回は、児童会や生徒会役員が挨拶運動を実施する学校があり、子どもたちが元気に挨拶をしたり笑顔で登校したりする姿を見ることができた。 無施錠の自転車の盗難が増えているとのことなので、第2回は、挨拶とともに施錠についても呼び掛けるようにした。

3	新1年生の下校に伴う巡回	○新1年生の下校時間帯を中心に通学路及びその周辺を青パトで巡回する。 4/12(金) 寒川小、さぬき南小 4/15(月) さぬき北小、津田小 4/16(火) 長尾小、造田小、志度小	*児童クラブの利用増による下校児童の減少や各学校の下校時刻がまちまちなことにより、タイムリーな巡回が難しかった。
4	午前学習巡回	○研究会やテスト中の午前学習に伴い、下校時間帯を中心に、安心・安全確保のため通学路及びその周辺を重点的に巡回する。 ・随時実施 市内 ・さ・東小中研総会、香小・中研究会等	*1・2学期中間テスト・期末テストの時に、青パトでセンター所員2名が巡回した。2学期中間テストでは、高校生にも声をかけた。
5	下校時合同巡回	○小学生の下校時間帯を中心に、安心・安全確保のために通学路及びその周辺を重点的に巡回する。 6/6(木) 15:20 津田小 補導員2名参加 6/7(金) 15:25 さぬき南小 補導員2名参加 6/10(月) 15:35 志度小 補導員3名参加 6/12(水) 15:20 さぬき北小 補導員5名参加 6/17(月) 15:15 長尾小 補導員2名参加 6/18(火) 15:25 造田小 補導員2名参加 6/19(水) 14:40 寒川小 補導員2名参加	*各小学校の高学年の下校時刻に合わせ、青パトで校区を巡回した。曜日によって下校時間が大幅に違う学校があったので、集合後柔軟に対応した。校区のことがよくわかっている補導員さんから様々な情報提供をいただきながら有意義な巡回ができた。
6	夕方合同補導	○見えにくい空間の子どもたちにも、補導員の眼が注がれるように、地域の補導ポイントや各種の通報現場等を確認しながら巡回する。 (2学期末テスト発表期間に合わせて) 11/14(木)長尾中 補導員4名参加 11/15(金)さぬき南中 補導員4名参加 11/19(火)志度中(変更)補導員5名参加	*テスト発表期間の一斉下校に合わせ、生徒指導主事の先生と補導員さんとで青パトに乗って校区を巡回指導した。挨拶をしてルールを守って自転車に乗っていた。ノーヘル等の生徒に注意した。気になる情報はさぬき署と連携した。
7	通学列車合同補導	○通学列車に乗車したり、乗降駅及びその周辺を巡回したりして、高校生を中心に乗車マナー・利用態度について指導する。 第1回 6/13(木) 15:30~18:00 ○場所 JR沿線、コトデン沿線及び駅周辺 ○参加者 補導員6名 所員2名 ○内容 列車内及び駅周辺の巡回補導 第2回 11/7(木) 15:40~18:00 ○場所 JR沿線、コトデン沿線及び駅周辺 ○参加者 補導員5名 所員2名 ○内容 列車内及び駅周辺の巡回補導 ※テスト期間中はその時間帯に合わせ実施の予定	*第1回、第2回とも列車内では、ほとんどの生徒がスマートフォンを使用しながら静かに乗車できていた。第1回は、1件不審行動が見られ、さぬき署少年補導員とともに近くで見守っていたが、乗車区間内では、特に問題はなかった。第2回も特に問題はなかったが、第1回より生徒がたくさん乗車し、挨拶が多かったように感じた。

8	各中学校別グループ補導 * 多和神社秋祭りでは、神輿やちょうさが練り歩き、人出も多かったが、特に問題はなかった。 * みろくまつりは、予定通り実施され、10:00 から 2 時間ずつ補導を担当した。補導員が少ないところは所員がカバーしたが、花火の後の帰宅促しが必要だったので、他の祭りと同様に警察の補導に合わせて17:00 ~に変更する予定。	○ 地域の実情に応じて、問題行動の起こりやすい夏休み中の夜間や、祭り・イベント実施日に子どもたちの集まりやすい場所を巡回する。 6/1 (土) 19:00~宝円寺春市 補導員 15 名 所員 2 名 計 17 名参加 7/20 (土) さぬき警察署海浜パトロール 所員 2 名参加 8/17 (土) 津田まつり 補導員 7 名 所員 2 名 計 9 名参加 10/13 (日) 多和神社秋祭り 補導員 4 名 所員 2 名 計 6 名参加 10/27 (日) みろくまつり (みろくひる市) 補導員 7 名 所員 2 名 計 9 名参加	* 宝円寺の春市は、土曜日だったので、例年以上に人出が多かったが、特にトラブルや気になることはなかった。運動会や体育祭の学校もあったが、子どもたちは仲良く春市を楽しんでいた。施錠をしていない自転車数が数台見られた。 * 津田まつりは、瀬戸内海国立 90 周年記念で 3000 発の花火が上がり、多くの人が来て盛況だった。特に問題はなかった。駐車場が満車になり車の出し入れが大変だったようだ。
9	通常補導	○ 小学生の下校時間帯に、安心・安全確保のために通学路付近を巡回する。 ・ 日時 月～金（主に午後） ・ 場所 市内全域 ・ 参加 センター補導員と補導員有志 ・ 長期休業中は、原則午前と午後 2 回さぬき市内を巡回する。 ※ さぬき署から青パト巡回時には、より適切な対応ができるようパトカーでの巡回と同様に複数の所員で行うよう指導があったので、今年度は常時 2 名で巡回している。 ※ 5 月から、安心安全啓発アナウンス「がんばれ！さぬきっ子」（なんしょんな・・・）を週に 3 回程度流しながら巡回するようにした。地域の方が挨拶してくれたり、子どもたちが笑顔で手を振ってくれたりとうれしい反応が増えた。アナウンスに気が付いて、声をかける前に並進をやめるなどよい傾向もみられる。 アルト以外の青パトでもアナウンスを流す準備ができたので、11 月以降は毎日安心安全啓発アナウンス「がんばれ！さぬきっ子」を流しながら巡回している。	* 青パトでセンター所員 2 名が巡回している。放課後児童クラブに行く児童が増えているためか、学校によっては下校する児童が少なくなっている。 * 夏休みは、午前と午後の 2 回程度巡回していたが、猛暑のため屋外で子どもの姿を見ることはほとんどなかった。そこで、今年度から新たに、長尾公民館や志度公民館、長尾・造田児童館などを巡回し子どもたちの様子を聞いたり、活用状況の確認をしたりした。また、商業施設（許可を得て）を巡回して子どもたちに声をかけたり、利用状況を確認したりするなど工夫した。 * 夏休み以降も、公民館や児童館に寄り、児童生徒の様子や利用状況について確認するようにしている。

(2) 少年相談

① 相談内容

- ・ 非行やいじめ等、青少年の問題行動に関する相談
- ・ 子育てや教育に関する悩みを持つ保護者・学校関係者・地域住民からの相談
- ・ 児童・生徒自身が抱えている不安や悩みを乗り越えるための相談
- ・ 不登校傾向が見られる児童・生徒に対して学校復帰や社会的自立に向けての支援、相談

② 相談の方法

- ・ 相談者が直接来て面接(来所相談)、相談専用電話の開設(電話相談)、必要に応じて訪問(訪問相談)を行っている。また、専門的なかわりが必要な時は専門機関を紹介している。

③ 担 当

- ・ 専門相談員 2名、臨床心理士 2名、公認心理師 1名

④ 啓発・相談体制

ア 臨床心理士によるカウンセリング

- ・ さぬき市内の各幼稚園、子ども園、各小・中学校、各庁舎、公共施設等に毎月案内プリントを配布するとともに、SCNやホームページにも掲載を依頼している。
- ・ 4月、8月を除く年10回(第3土曜日・・・4時間)実施で、1相談あたり約50分程度。

イ 公認心理師によるカウンセリング

- ・ 「FINE」を利用している児童・生徒及び、その保護者を対象に月1、2回実施。

ウ 「FINE」親の会

- ・ 年間2回(10月、2月)実施の「FINE」親の会には、通級生だけでなく市内の不登校傾向にある児童・生徒も対象にして各小・中学校に案内を出している。
- ・ 10月はSSWの先生方も参加して行い、臨床心理士による指導及び助言がある。約1時間半の話し合いの後、参加者の中でカウンセリングの希望があれば実施している。
- ・ 2月は、通級生の保護者だけ対象にし、専門相談員と来年度に向けての個別相談会を実施。

エ 専門相談員による相談活動

- ・ カウンセリングの時以外は、専門相談員が電話対応や相談室で対応している。
- ・ 「悩み相談カード」をさぬき市内各小・中学校の小4・中2の児童・生徒全員に配布。
- ・ 広報誌に子育てや心の相談等に関連する内容や相談案内の連絡先等を掲載している。

⑤ 月別相談件数 (令和7年1月31日現在)

⑥ 学識別・男女別・相談件数 (令和7年1月31日現在)

⑦ 内容別相談件数 (令和7年1月31日現在)

⑧ 令和6年度の成果と課題(相談活動の現状と傾向)

1月末までの相談件数は、延べ144件で昨年より増加しており、不登校・不登校傾向にある児童・生徒への相談件数も95件と相変わらず増加傾向にある。特に中学生からの相談は、人間関係や学力不振等が原因で休みがちになったり、体調不良や生活習慣の乱れから朝起きられず、次第に

遅刻・欠席が増えて不登校傾向になったり、実際不登校になってしまったというケースが多かった。小学生からの相談も、友人関係の悩みが挙げられた。

一方で、今年度もカウンセリングやS S Wの先生方、学校との情報交換会の実施によって学校復帰ができたり、徐々に登校できる日が増えたりした児童・生徒がみられたことは大きな成果だった。そして、本人自身からの相談でカウンセラーに直接思いを言葉にできたことでストレスが軽減した例もあった。

また、公認心理師によるカウンセリング相談件数は18件で、F I N Eに通級している児童・生徒だけではなく、その保護者も悩みを聴いていただいた。内容は家族間の事や、人間関係の悩み事で、早期解決が難しいものであった。そのため、長期に渡って支援していく必要がある。

今後も様々な事例に対応できるよう、研修会に積極的に参加し、専門相談員としての資質向上に努めていきたい。

(3) 適応指導教室

① 令和6年度通級生の状況

令和7年1月31日現在

② 活動状況

令和7年1月31日現在

No.	活 動 名	内 容	備 考
1	基本的な生活習慣の確立 個々に応じた通級指導をする。	- 生活習慣の親子指導（生活リズムの回復） - 通級への働きかけ - 登校支援（随時） - 修学旅行等学校行事参加支援	
2	学習活動 個に応じた学習支援を行い、学習意欲を引き出し、自己肯定感を高める。	【学習】 学校で使用しているワーク・プリント等を活用し自学自習する。個々の状況に応じて個別指導を行う。 【定期テスト等】 学校でテストを受験することができない場合は、学校と連携し、FINEでの受験を促す。	
3	体験活動 所属感や達成感を味わい、自信を得ることで、自立につなげていく。	【室外活動】 5月…春の遠足（津田の松原等） 7月…南川デイキャンプ 10月…秋の遠足（栗林公園等） 【製作活動】 掲示板（毎月） 【スポーツ活動】 卓球、フリスビー、ボッチャ 【栽培活動】 ミニトマト、オクラ、キュウリ、スイカ、ピーマン、大葉、サツマイモ、ジャガイモ、ニンジン、大根、葉大根、玉ねぎ、春菊、グリーンカーテン 【調理実習】 まきまきパン、焼き芋、クリスマスケーキ 【レク活動】 トランプ、UNO、オセロ、ジグソーパズル、ボードゲーム ジェンガ 等	
4	相 談 児童・生徒の悩みや家族の悩み等を聴き、問題解決に向けて支援をする。	【臨床心理士によるカウンセリングの実施】 山下奈緒美、杉野圭子臨床心理士 令和6年度 10回実施(1回4時間) 開催日 5/18 6/15 7/20 9/21 10/19 11/16 12/21 1/18 2/15(予定)3/15(予定) 【公認心理師によるカウンセリングの実施】 窪田恭子公認心理師 月数回水曜日午後に実施 【通級生相談】 必要に応じて随時実施 【保護者相談】 希望に応じて随時実施 【通級生保護者個別相談会】 2月に希望者を対象に実施 【FINE 親の会】 保護者対象のグループワーク 実施日 10月15日(火)	

		【不登校に関する相談】 随時実施 【少年相談専用電話】 TEL26-9977 の活用	
5	広報・啓発	・市広報誌の活用 ・FINE 案内パンフレットの配布 ・少年相談カードの配布 ・カードやチラシ等を本庁や支所、出張所の窓口 に設置 ・文字放送やさぬき市ホームページの活用	
6	連 携 不登校生徒への共通理解を 図り、よりよい支援を行い、学 校復帰へつなげていく。	【学校との連携】 ・通級報告書の送付（各月初め） ・カウンセリングの案内送付 ・市内小中学校と情報交換会の開催 1 回目（6～7 月）2 回目（11～12 月） ・関係者との情報交換（随時） 【家庭との連携】 ・通級報告書や各種お知らせの配布 ・個別懇談会の実施（2 月） ・送迎時における個別対応 【他機関との連携】 ・県教育委員会、県教育センター ・東部支援学校 ・県こども女性相談センター ・香川大学医学部 ・社会福祉事務所 ・市発達障害等支援連携会議 ・さぬき市児童対策地域協議会 ・市子育て支援課 ・SC、SSW、心の教室相談員、隣接適応指導教室等 ・進路説明会の開催（9 月 26 日）	

③ 令和 6 年度の成果と課題

- 不登校及び不登校傾向のある児童・生徒の保護者に対して、F I N E の教室紹介パンフレットを昨年度と同様に各学校に 5 部ずつ配布した。在籍数が 4 月末 18 名、8 月末 22 名、12 月末 29 名、1 月末 30 名と日をおって増えている。内小学生が 9 名とここ数年小学生の割合が高くなる傾向がある。昨年度までは中学生は自習を基本としていたが、本年度は学習内容の理解度をより高めるために小学生同様個別指導を進めている。また、社会への適応と生活リズムの安定のため、多くの通級生が継続して通級できるよう教室の環境を整えるとともに、子どもたちと積極的に会話するよう心掛けた。
- 東かがわ市と交替で毎年実施している進路説明会を、本年度はさぬき市が主催で 9 月 26 日（木）に新しい長尾公民館で開催した。31 組（さぬき市 25 組）の親子から参加希望があり、その内 26 組（さぬき市 21 組）の親子が参加した。資料やパワーポイント等を利用して高校 11 校から説明があり、参加後のアンケートでは「一度にたくさんの高校の説明を聞くことができ、全日制や定時制、通信制などの違いや各校の特色がよく分かってよかった。」という肯定的な意見が多かった。一方開催時期については 7 月から専願入試を実施している高校もあり、もう少し早い方がよいという意見もあった。このことについてはその旨を来年度主催の東かがわ市に申し送りをしている。
- 継続的に通級ができている児童については、各学校からその児童の学年の

年間学習指導計画を送ってもらい、できるだけ学校の学習の進度に F I N E の学習進度も合わせるようにした。

- 通級生の学校復帰に向けて学校及び S S W 等と情報を共有し、共通実践できるように通級生のいる学校へ出向き（小学校 6 校、中学校 3 校）、情報交換会を行った。関係者の情報や考えをお互いに共有することができ、今後の活動に向けて大変有意義な会となった。本年度 1 学期までは、開催時期等はセンターから口頭で依頼していたが、学校の行事等も考慮して計画的に実施するためにセンターから文書を発出し、開催時期についてできるだけ学校の希望を聞いて実施するようになった。
- 5 月 3 0 日（木）に春の遠足を実施し、8 名が参加した。日本ドルフィンセンターではイルカとふれあい、津田のふるさと海岸にある天然藍染工房キマイラでは藍染体験をし、一人一人がオリジナルのハンカチを製作した。
7 月 2 4 日（水）に南川自然の家で、デイキャンプを行った。申込者 6 名の内、中学生 3 名、小学生 2 名、計 5 名が参加した。カレー作り、飯盒炊飯、会食、ビンゴゲームなどを子ども同士や職員等といっしょに取り組み、どの子もセンターとは違う生き生きとした表情や会話が見られ、活力のある楽しい時間を過ごすことができた。また、1 0 月 3 0 日（水）には 6 名が参加して秋の遠足を実施し、栗林公園で和船に乗る体験や抹茶をいただく体験をした。3 つの行事とも通級生にとって普段体験できないことが体験できたり、通級生同士や通級生と職員、S S W 等と親近感が増したりするなど有意義な活動となった。
- 通級生とキュウリ、ピーマン、ミニトマト、スイカ、メロン、オクラ、サツマイモ、ニンジン、大葉、大根、細ネギなどの野菜の世話や収穫を共にした。野菜の世話や収穫時に通級生の笑顔が見えたり、収穫物を家庭に持ち帰ることにより通級生と保護者の会話や保護者と職員の交流の機会が増えたりし、より親しみが増したように感じる。
- 昨年度に続いて地域の福祉施設と交流し、昼食に参加させていただいたが参加できる状況の通級生が少なく、回数も昨年度と比べて少なかった。
- 通級生の保護者との連携は重要なことである。しかし、申請はしているが通級できていない児童・生徒の家庭には学校との兼ね合いもあり、直接家庭に連絡し通級を働きかけることはむずかしい。
- 定期テストや「学習の診断」を学校で受験することができない通級生のために、各学校と調整し、適応指導教室で受験できるようにしたが、実際には受験した生徒はいなかった。

(4) 地域連携

No	事業名	事業実施状況及び概要	備考
1	こどもSOS事業	○子どもを犯罪被害からまもるために設置している緊急避難場所を維持継続する。 ・「こどもSOSだより」を発行する。 ・適宜、追加や変更に対応する。	〈参考〉 令和6年9月1日現在 437箇所 ※ さぬき市外への転居や高齢化等で、設置場所が毎年減少している。
2	FAX等注意連絡網 不審者関連受理件数 R2年度 23件 R3年度 18件 R4年度 14件 R5年度 12件 ※ 不審者情報受理件数は、徐々に減少している。安心して、該当場所の青パト巡回を増やすなど、今後も未然防止の対応を継続していきたい。 ※ 令和6年度は、不審者以外の情報提供が多くなった。 不審者以外の情報が提供されたときは、場所や状況確認したうえで、関係機関に伝えるようにした。青パトの巡回を増やすなどの対応についても今後も継続していきたい。 R6年度 14件	○子どもの安全確保に関する緊急連絡網を整備する。 <pre> graph TD A[情報提供者] -- 通報 --> B[育成センター] A -- 確認 --> B B -- 通報相談 --> C[警察 (さぬき警察署・香川県警本部)] B -- FAX等 --> D[教育委員会 (さぬき市教育委員会)] B -- FAX等 --> E[学校・幼稚園・さぬき市子育て支援課] B -- FAX等 --> F[近隣少年育成センター] </pre> ・各種合同補導等を通常時の情報交換の場として捉え、地域や子どもたちの様子、通報内容などの情報交換をしながら補導を実施する。 * 「県警子ども安全・安心ネットワーク」 (事務局：県警本部生活安全企画課)	令和6年度通報受理件数 〈令和7年1月31日現在〉 ○不審者関連：10件 〈内訳〉 ・幼稚園児への なし ・小学生への 無断撮影 … 3件 声掛け … 1件 その他 … 2件 暴言 … 1件 ・中学生への 不審行動 … 1件 声掛け … 2件 ・高校生 なし ・その他 なし ○不審者情報FAX発信 7件 * 警察が捜査中、保護者がFAX送信を希望しなかった等の理由で、3件はFAX送信を行わなかった。

3	連絡調整	○学校・警察等の関係機関や地域の各種連絡会に積極的に関わり、ネットワークづくりを推進する。また、連携を強める情報を発信し、広く協力を呼びかける。 ・近隣地区少年育成センター連絡会 4/24 6/5 7/3 9/4 10/2 12/11 1/15 2/5 【実施予定】 3/21 ・さぬき東かがわ地区高等学校生徒指導月例会 5/14 6/11 7/9 9/10 11/12 12/10 1/21 【実施予定】 2/13 ・香川県児童福祉審議会 9/11 健全育成部会 10/21 【実施予定】 3/6 ・さ・東中高生徒指導連絡協議会 10/8 ・小中高生徒指導主事警察等連絡会 12/3 ・さぬき市要保護児童対策地域協議会 5/31(金) 10/18(金) 【実施予定】 2/21(金) ・さぬき市発達障害等支援連携会議 5/24(金) 7/11(木) 11/7(木) ・さぬき市防犯協会総会 7/1 ・薬物乱用防止対策連絡協議会 7/4	各幼・小・中・高等学校 各幼・小・中・高等学校PTA さぬき警察署 近隣市・町教育委員会 青少年健全育成香川県民会議 さぬき市青少年育成市民会議 県民活動・男女共同参画課 東讃保健福祉事務所 県子ども女性相談センター 県少年育成センター連絡協議会 近隣少年育成センター さぬき市子育て支援課
4	連携・協力	○学校や警察等の関係機関、地域と連携し、青少年の健全育成活動や被害防止活動に、積極的に参加し協力する。 ・さぬき警察署関係 県下一斉街頭補導 【実施】 4/25 5/24 6/25 7/25 8/23 9/25 10/25 11/25 12/25 1/24 【実施予定】 2/25 3/25 - 津田海浜パトロール 【実施】 7/20 育成センター職員2名参加 水難事故防止・交通安全キャンペーン等への参加 ・学校関係 卒業式・文化祭等への参加・巡回 津田高チャレンジウォークの巡回 青パトで職員2名がコースを午前と午後に巡回 志度小豆もらい：職員1名青パト巡回 ・その他 安全ボランティア研修会等での指導・講話 要請に応じて	*県下一斉街頭補導では、毎回、育成センターの職員3名が育成センターの青パト3台に乗って参加している。16時開始と小学校の下校時間より遅いので、子どもたちとあまり出会えない時もあった。 *津田の松原海水浴場の海開きに合わせて、夏休み最初の土曜日に警察と育成センター、関係団体が合同で海浜パトロールを実施した。あまり人はいなかったが、啓発グッズを渡ししながら水難事故防止等について呼びかけができた。 *津田高ウォークは、天候にも恵まれ、元気に歩く姿が見られた。青パトで巡回する所員にも、さわやかな挨拶を返してくれた。

5	小・中・高警察等連絡会	○児童生徒のつながりの広域化に伴い、育成センター・各小・中・高等学校・警察が連携を密にし、市内の現状についての各種の情報を共有・協議し、相互の活動に生かすための連絡会を開催する。 12/3(火) 寒川第2庁舎 参加者 小中高校生徒指導主事 県警本部・さぬき署より各2名 所員 SSW	* さぬき署生活安全課鈴木課長さんの講話「学警連携について」と「こどもが被害を訴えたときの初期対応等について」の講話やグループワーク、中学校区ごとの情報交換など、充実した研修ができた。
6	中学校区別補導員連絡会	○補導員が、相互の情報交換をしたり、以後の活動について協議・修正したりをすることで、共通理解を深めるとともに、共通行動ができるよう、中学校区別に連絡会を開催する。 さぬき南中学校区 補導員 14名参加 6/26(水) 19:00～ 寒川農村環境改善センター 長尾中学校区 補導員 9名参加 6/27(木) 19:00～ 長尾公民館 志度中学校区 補導員 10名参加 6/28(金) 19:00～ さぬき市役所本庁附属棟 (内容) 補導状況について 通報状況について 年間計画について 実施状況報告 協議・検討事項について 情報交換 その他	* 最初に育成センターから事業の実施状況や補導・通報状況について説明した。その後、各学校の先生から1学期の児童生徒の活動や生活の様子等について説明してもらった。 最後に、地域における子どもたちの様子や夏休みに向けての注意点について情報交換及び情報共有を行った。情報交換の中で出た気になる情報については、関係機関にも伝えて対応をお願いした。

(5) 環境浄化

No	事業名	事業実施状況及び概要	備考
1	事業者などへの協力要請	○児童生徒が安心・安全に携帯電話が利用できる環境の整備について啓発をする。 ○ゲーム等については、児童・生徒の逸脱行為がないように関係業者に協力を依頼するとともに、店内における巡回・声かけ等についても理解を得る。	*夏休みには、猛暑のため外で子どもの姿を見かけることがなかった。ゲームセンター、スーパー、書店なども許可を得て巡回して利用状況等を確認した。
2	環境浄化モニター	○環境浄化モニター制度を導入し、市内の状況を把握し、関係機関と連携して対処する。	*別紙(資料1～4)参照
3	環境美化ボランティア	○青少年のボランティアを募り、青少年が日頃目にする公共の場所の環境美化に努める。 場 所：J R 神前駅周辺 参加者：寒川高校生徒・先生 補導員 育成センター職員等 内 容：通学路周辺のゴミ拾い 5/8 (水) 15:45～ 10/10 (木) 15:45～ 1/27 (月) 15:45～ *第3回は、雨天のため中止した。	*第1回は、寒川高校の生徒・先生を合わせて約35人と補導員6名、センター職員2名が参加した。生徒たちは、一生懸命取り組んでいた。「皆さんの活動のおかげで、年々ごみのポイ捨てが減ってきているように感じる。」(寒川高校校長挨拶より) *第2回も、寒川高校の生徒・先生約35人と補導員6名、センター職員2名が参加した。ごみは少なかったが、熱心に活動に取り組むとともに、横断歩道で止まってくれた車へ会釈をするなどマナーも大変よかった。
4	有害図書の回収	○市内各所に設置している白ポストで、青少年にとって有害な図書・DVD等を回収し、処分する。 【設置箇所：市内12か所】 大川…田面バス停・みろく公園 寒川…市民病院・JR 神前駅 長尾…運動公園・JR 造田駅 長尾公民館前山分館 志度…JR 志度駅・働く婦人の家 JR オレンジタウン駅 津田…JR 津田駅・JR 鶴羽駅	令和6年度有害図書回収 (令和7年1月31日現在) 【回収総数：752点】 ○有害図書 … 331点 ○一般図書 … 27点 ○DVD等 … 337点 ○その他 … 57点 

(6) 広報啓発

No	事業名	事業実施状況及び概要	備考
1	少年育成センターだより	○さぬき市広報紙に「育成センターだより」を掲載し、青少年の健全育成について正しい知識の啓発に努める。(年6回) 4月「さぬき市少年育成センター」の取り組みを紹介します 6月適応指導教室「FINE」を知っていますか? 8月「ネット・スマホ活用世代の保護者が知ってほしいポイント」 10月「おかあさんにほめられたい」 12月「家族みんなで考える『青少年健全育成標語』入賞作品」	【今後の掲載予定】3月「自転車の乗り方」
2	児童生徒の一日補導員	○校外生活の注意や、犯罪の被害にあわないための注意、地域の人々への協力依頼などについて、児童生徒が積極的な実践的な啓発活動を行う。 〈中学生一日補導員〉市内3中学校生徒 日時：8/2(金)10:00～12:00 ザ・ビッグ 〈小学生一日補導員〉さぬき北小学校児童 6名・先生1名 補導員5名 職員4名 日時：9/20(金)に変更 15:50～16:30 場所：ムーミー志度店 *閉店直前だったが、補導員と子どもたちの明るい挨拶が響く活動ができた。 〈高校生一日補導員〉石田高校生徒13名 先生3名 補導員4名 職員4名 日時：11/13(水) 15:50～16:40 場所：ザ・ビッグ寒川店 *広報アナウンスや声掛けをしながら店頭で啓発グッズの配布をした。	〈中学生一日補導員〉 【参加者】 さぬき南中学校 3名 長尾中学校 3名 志度中学校 3名 (生徒2名+先生1名) 補導員 11名 育成センター職員4名 計24名 *酷暑の中、青パトで広報アナウンスをしながら校区内を巡回、店頭で啓発グッズを配布したが、生徒たちは意欲的に取り組んだ。
3	非行防止強調月間等における広報	○青少年の健全育成について全県的な運動期間中には、特に横断幕や看板や広報車等による啓発をし、併せて文字放送を活用して広報活動を行う。 ・夏の青少年非行・被害防止県民運動 ・子ども・若者育成支援強調月間 ・広報車の活用 「安全まちづくりの日」 「不審者対策」 「夏の青少年非行・被害防止」 「子供・若者育成支援強調月間」 日常的な注意喚起などの広報啓発 ・健全育成懸垂幕の掲揚(さぬき市役所本庁) 11月「子ども・若者育成支援強化月間」の広報啓発活動 ・青色防犯パトロール活動 「青色パトロール講習会」7/25(木) - 受講者：14名 - 講師：さぬき警察署生活安全課長	*さぬき警察署生活安全課 課長を講師に迎えて講習会を実施した。本年度は、14名と多くの学校関係者が参加した。講習会后、青パトの利用方法、補導・運行日誌等の記載についても説明した。

4	健全育成の標語募集 	○小・中学生を対象に「家族みんなで考える青少年健全育成標語」を募集し、その作品を使った啓発活動を行う。 ・作品募集：1学期末から夏休み ・対 象：小・中学生 ・優秀標語入り啓発カレンダー作成（全児童生徒・学校等に配布） ・子供・若者育成支援強調月間の広報時に市役所などに入賞作品のポスター掲示 ・キャンペーンに用品（メモ帳・ボールペン）活用	（令和6年度） ・応募総数：271点 ・最優秀作品 「スマホより だいじにしてね ぼくとのじかん」 寒川小学校 2年生
5	啓発チラシの準備と配布	○薬物乱用防止や万引き防止、インターネットやスマホ利用についてのチラシを準備し、街頭キャンペーンで配布する。	*街頭キャンペーンに向け、関係機関からチラシやグッズをもらい準備した。

（7）研究・研修

No	事業名	事業実施状況及び概要	備 考
1	補導員研修会	○より深い子ども理解とより高い補導技術を目指して研修を行う。 第1回補導員会 5/21（火）15:00～16:30 場 所：寒川農村環境改善センター 参加者：補導員、センター職員 内 容：講話（さぬき警察署生活安全課 鈴木課長） 補導員役割分担 第2回補導員会 2/7（金）15:00～16:30 場 所：寒川庁舎3階に変更 参加者：補導員、センター職員 内 容：講話（さぬき警察署生活安全課 鈴木課長） 今年度の事業報告	*第1回は、各地域から37名の補導員さんが参加くださり、合同補導等の分担を決めたり中学校区別に情報交換をしたりするなど計画通り開催することができた。 *第2回は、各地域から39名の補導員さんが参加くださり、「近年の青少年を取り巻く状況の変化」について講話を拝聴し、令和6年度の事業報告、モニター結果説明を行った。
2	育成センター研修会	○育成センターの研究会、研修会に参加する。 ・県少年育成センター研修会 5/23（木）センター職員4名 8/9（金）センター職員4名 10/16（水）センター職員4名 *講話「救えたはずの命から託された願い」から、子どもを守る地域の力の大切さと出会いで未来が変わることを学んだ。	*講話「神経発達症と心身症」から、子供の成長への周囲の大人の理解と環境調整の大切さを学んだ。 *講話「愛着障害と発達障害の理解と支援」から、今すぐ役立つ、実践に生かせる貴重な学びがあった。
3	情報や資料の収集と提供	○国や県の動向について情報・資料の収集を主体的に行う。 ○上記の研修を通して得た情報を積極的に提供する。	

（8）育成センターの運営に関する審議会

No	事業名	内 容	実施日・場所
1	第1回運営委員会	○委嘱状交付 ○役員選出 ○事業計画（案）の承認	5/10（金）13:30～ 寒川第2庁舎2階 203会議室
2	中間報告	○上半期の事業報告並びに下半期の事業計画等	10月上旬 紙上報告
3	第2回運営委員会	○今年度事業報告 ○次年度への課題について	2/21（金）13:30～ 寒川第2庁舎2階 203会議室

青少年の動向に関するモニター集計表

アンケート集計 （１２月１６日現在）４８．６％

１ 次の各表の中で、気になる項目を○でお囲みください。（今年４月から現在までの状況）また、右の欄には、簡単にその状況をお書きください。

■身近な青少年の動向について

喫煙	・ 津田駅、ローソン、松原あたりで喫煙の情報あり。（高校）
飲酒	・ 祭りがらみの飲酒行為が発覚した。（高校）
薬物関係	
窃盗（万引き・自転車盗など）	・ 校内で現金がなくなることが数件あった。（高校）
暴走行為（無免許・暴走など）	
器物損壊（落書きを含む）	・ 以前の落書きが残っているところがある。（小学校） ・ 道路への落書き１件（小学校）
恐喝、いじめ	・ １年生のクラス内で５月ごろからのいじめ、からかい行為が発覚した。（高校） ・ 変わらない人間関係の中で起きたいじめは、解消しづらい。（小学校）
夜間外出や深夜徘徊	
不健全交遊	
たむろ	土日、早くの下校時、ザ・ビッグ内外やマクドナルドで見かける。
学校・仕事を怠る	・ 不登校生徒⇒遅刻生徒が多い。（中学校） ・ 学校に足を運ばない生徒が増加しているため。（中学校） ・ 今年は、３年生で進路が決まってから休みがちな生徒が多い。（高校）
迷惑行為	
危険な遊びや危険玩具	・ 水辺に子どもたちだけで近づいていることがある。（小学校）
その他気になる少年の現状など	・ 不登校（小学校） ・ 不登校の児童が２名、不登校傾向１名（小学校） ・ 特定の授業が乱れている。生徒は相手をみて態度を変えている。（高校） ・ SNS など IT 系の動きのチェック ・ 青少年を見ることがない。

■青少年を取り巻く環境について

少年の集まる可能性のある場所	・長尾公民館
放置自転車や放置バイク	
有害雑誌等(CD・DVD含む)	
その他改善を要するもの	・朝ごはんを用意しない。生活リズムの乱れを家族でのネグレクト傾向が以前より多く見られる。(小学校) ・スマートフォンの使い方

■子どもの安全確保に関することについて

危険箇所(不審者、交通・水難など)	・地震による津波や液状化現象の恐れがあるので、避難訓練や校内防災の日を通じて PTA への啓発を進めていく。(小学校) ・横断歩道のラインが消えている場所が多い。(志度地区) ・ムーミー志度前信号(小学校) ・小方の道が狭い。(自転車通学の生徒と車が近すぎる。) ・通学路の定期的なチェックが必要(草、木など) ・朝夕、車がスピードを出しすぎている。(造田地区) ・高校生のヘルメット着用 ・川や水路は多い。イノシシやサルの出没が多い。(小学校) ・津田北山、松尾地区、現在工事中。カーブの多い所の為、車がいきなり見えたりする。
不審な人物、車	・10月に児童撮影事案(警察に連絡済み) ・時々、道に軽ワゴンが30分程度止まっていることがある。(寒川地区)
子どもの名簿集めなど	
児童虐待	・保護者対象となった事例1件、ネグレクトの疑い(?)が数人(小学校) ・保護者で生徒にあたりがきつすぎる人がいる。(高校)
その他	・イノシシ、サルなど野生動物の情報がよく入ってくる。(小学校) ・フォートナイトなどのネットゲームなどのトラブル(があるかも。) ・集団登校で、みんながいっしょに歩くよう言っても、なかなかできない。学校からの指導をお願いしたい。

■その他、気になる状況やご意見がありましたらお書きください。

- ・スマホ等を使った事案が増えている気がする。(勝手に撮影する、拡散する、トイレをしているところなど性的なところを撮るなど) ※生徒は「拡散」のことを「共有」という言葉を使う。(中学校)
- ・子どもたちを対象にしているかどうかかわからないが、下校時刻頃(午後3～4時)県外ナンバーの車がゆっくりした走行で同じ道を何回も走っているのを見かけた。(9月～10月)
- ・子どもたちが、放課後集まって遊ぶことのできる場がない。(小学校)
- ・少子化、定員割れにより、学力が低く、素行面に問題がある子が入ってくる割合が大幅に増えてきている。その結果、いじめをはじめとした問題行動が継続して昨年あたりから後を絶たない状況となっている。若い先生で保護者対応もうまくできない教員も多く、何でもかんでも生徒指導の方に持ってこられて手が足りない状況である。(高校)
- ・家→学校→地域がうまくマッチングできる様、それぞれが情報の共有化が必要では？
- ・最近、歩きのエリアの子も送り迎えが多くなり、1人で帰らないといけない児童もいる。一緒に帰る子がいるなら歩いて帰る経験も必要だと思うけど、〇〇が車ならうちも車で…みたいな感じで。でも、毎日でもないから、乗ったり乗らなかったり歩きだったり、歩きで帰るタイミングがわかりづらくなっている。1人で帰っても安全な道であってほしいが…。
- ・最近、車の往来が多い道路や歩道の工事がある。(志度であれば、マルナカ前、コープ前等) 随時状況が変化しているので、子どもへの周知をしっかりとしてもらえればと思う。
- ・子どものSNSトラブルについての保護者の問題意識の低さ
- ・高校生の自転車運転中のスマホ(厳しくなって減ってきたとは思いますが…)
- ・朝の通学時、県道を走る自転車通学の生徒の中に、まれに右側通行で走る生徒がいる。また、自転車の前後の間隔が短く、追突まではいかなくても、接触してハンドルをとられたり、転倒したりすることになりかねないと思う。でも、9割以上の生徒があいさつを返してくれることは、すばらしいと思う。
- ・小学生の下校時に学校の指定、また家で決めた道を通らずに帰る子がいる。
- ・自転車に乗ってのスマホは、いろいろな場面で指導が行き届いているためか、見かけなくなった。一部、登校時、歩きながらのスマホは、時々見かける。
- ・自転車のヘルメットは、中学生はしっかり守っているのに、高校生になったとたんにノーヘル=かっこいい、髪がみだれる、なんて言っただぶらない! 努力義務ではなく、きまりとしてできないのだろうか？
- ・野間橋の川側の笹はなくなったが、反対の民家の方の笹が多く、イノシシが逃げていくのを見た。風谷の地区の子どもたちが下校時に通るので、心配である。早く笹をのけてもらいたい。
- ・脇地区の子どもたちは、スクールバス乗り場が中村地区のため、脇橋東側(県道)を横断するのが危険である。(道路がきれいになったので、スピードを出す車が多くなったため。)
- ・マルナカ外正面のベンチで夜8時頃、高校生カップルが仲良く座っていた。(津田地区)
- ・マルナカ横の店で、シャッターにもたれて女子高校生が体育座りでパンツ(見せパン)丸見えで、何か食べてくつろいでいた。(津田地区)
- ・吉見のスクールバスが止まっている所がウバメガシの生垣で、中学生が乗り込むのが大変そうである。朝はとくに通勤車やゴミ出しの車が頻繁に通るため、危ないことが多い。もし、できるなら、もう少し北山寄りの月極駐車場横あたりではどうだろうか？バスも吉見集会場横の広い所で廻って、中学生を乗せてきた車も比較的安全に通行できるかと思う。

2 みなさんに参加のご協力をお願いして実施してまいりました各種活動等（朝方合同補導・下校時合同巡回・夕方合同補導・祭りやイベント時の活動・夜間合同補導・校区别補導員会等）につきまして、ご意見がございましたら、次年度以降の計画立案の参考にしたいと思いますのでお書きください。

- ・学生さん達のキャンペーン活動は、参加者本人の意識づけにもなり、とても有意義だと思う。
- ・中学生一日補導員の時間等を前もって教えてほしい。生徒の集合時間などをきちんと伝えてほしい。（中学校）
- ・11/6（水）南中校区での集まりが（合同現教）あり、小学校から中学校へのつながりで、生徒指導上必要なことを話し合った。少年育成センターが中心となった集まりでは、高校、地域まで広げた話が聞けるので、ありがたい。（小学校）
- ・特に何も無いが、学校に問題が起きることが多々あり、外部の活動に協力できない状況になっていることが申し訳ない。（高校）
- ・市では色々な委員会があり、できる限り横のつながりを持ち、情報を共有することが大切だと思う。
- ・登下校時等、問題点も見当たらず良好だと思う。
- ・朝方、下校指導では、学校をはじめ PTA などでもできるだけ参加してほしい。年に 2～3 回なので、そう仕事に支障はないと思われるので、私が学校現場にいた時は総出でその時は指導していた。
- ・長尾中武道館から西交差点を越えた橋のらんかんにフナの頭とヒレ、パブリカなどを置いたままにしてあった。その情報が入ったので、10 月 31 日に処理した。今年の橋の下のこともあり、心配である。（小学校）
- ・志度地区では、数年前まで行われていた商工会主催の「サマーメモリアルフェス」がなくなったが、今年、有志団体により「サマフェス」「志度花火大会」等が実施された。補導員の合同補導が必要かどうか検討されてもいいかなと思った。
- ・中学校区別補導員会は、地区・学校での具体的な話が聞けてありがたい。
- ・夕方合同補導については、生徒の下校の様子とかよくわかったが、通学路については、再度、危険場所当のチェックをして打ち合わせが必要だと思う。
- ・青パト使用時に回転灯と併せて、テープ等を流して拡声器で啓発してはどうかと思う。
- ・朝方、下校時、夕方合同補導は、続けて活動をお願いしたい。子どもたちの顔が見られて良いと思う。
- ・鴨庄のムーミーマジック店の店じまいが間近でお客様も少なくなっているところに、子どもたちが一生懸命に頑張っている姿を見てもグズグズの配布に時間がかかって気の毒な様子だった。次回は普通の日にしたらどうかと思った。子どもたちは大きな声で言えていたと思う。（小学生の一日補導員）
- ・仕事の都合で参加ができない事が多くすみません。
- ・ザ・ビッグでの一日補導員のキャンペーンは、暑かったりもするが、子どもたちのいきいきした姿を見られるよい機会になっている。
- ・昼間の青パト巡回もありがたい。若者で不審者かどうか分からない人を時々見かけるので安心である。脇道なども走ってくれていると思うが、あまり人が通らない脇道も走ってほしい。
- ・センターの活動はいろいろしてくれていると思うが、それに併せて地域の人たちが、毎日の生活の中で安全活動に目を向け、子どもたちに声かけしてくれればと思う。
- ・現状のままで良い。
- ・小学生の一日補導員では、貴重な体験ができ、ありがたかった。児童の感想が冊子になっていたが、中学生、高校生は無記名だったので、合わせていただければありがたい。